

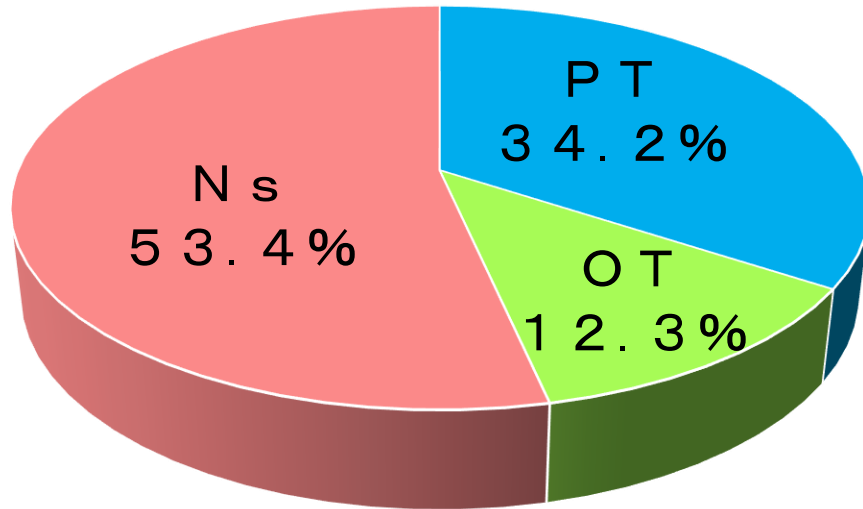
2022年度
学生アンケートのまとめ

アンケート実施期間
2022年11月15日～2023年1月16日

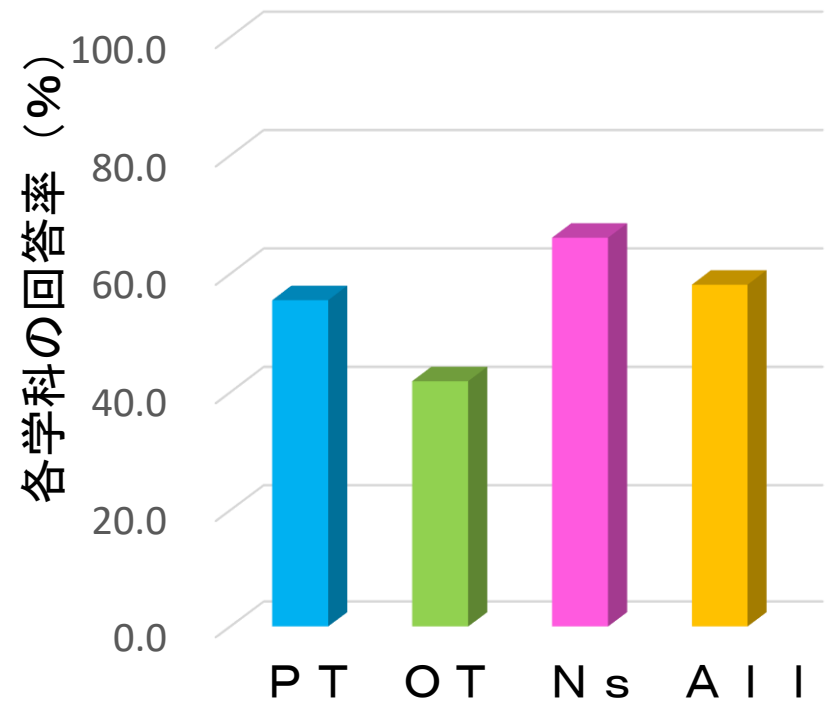
北都保健福祉専門学校

Q 1 - 1 ~ 1 - 2 学生アンケートの回答率

全回答に占める各学科の割合



回答率の学科比較

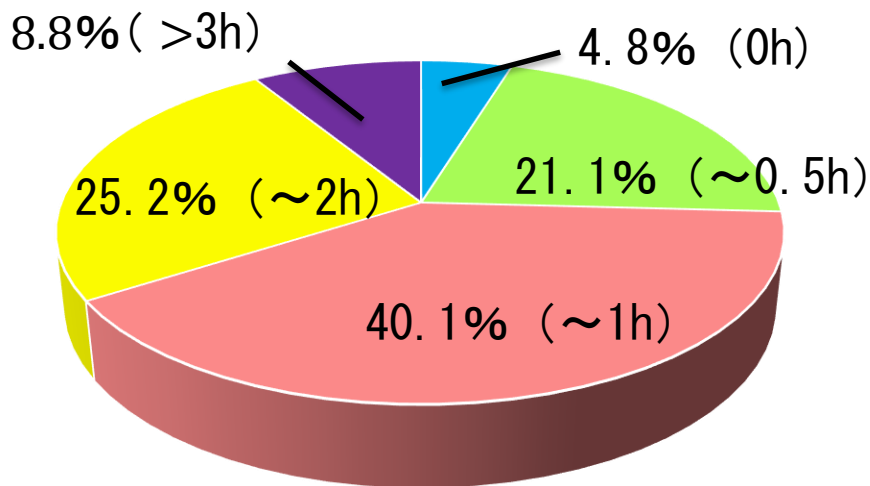


PT : 理学療法学科、OT : 作業療法学科、Ns : 看護学科、All : 全学科

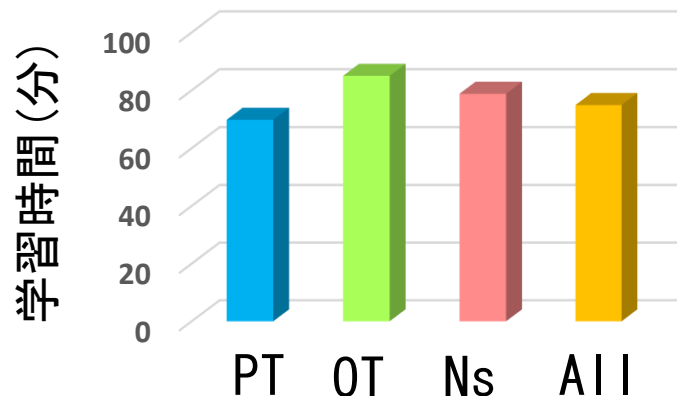
総回答の内訳をみると、看護学科の割合が全体の過半数（53.4%）となっており、理学療法学科（34.2%）、作業療法学科（12.3%）であった。しかし、各学科の在校生数に対する回答率を比較すると、右グラフのように回答率にはそれほど極端な差異はなかった。それゆえ、今回の学生アンケート結果は、各学科の学生数に応じた意見を反映していると考えられた。

Q2. 1日の自己学習時間はどのくらいか

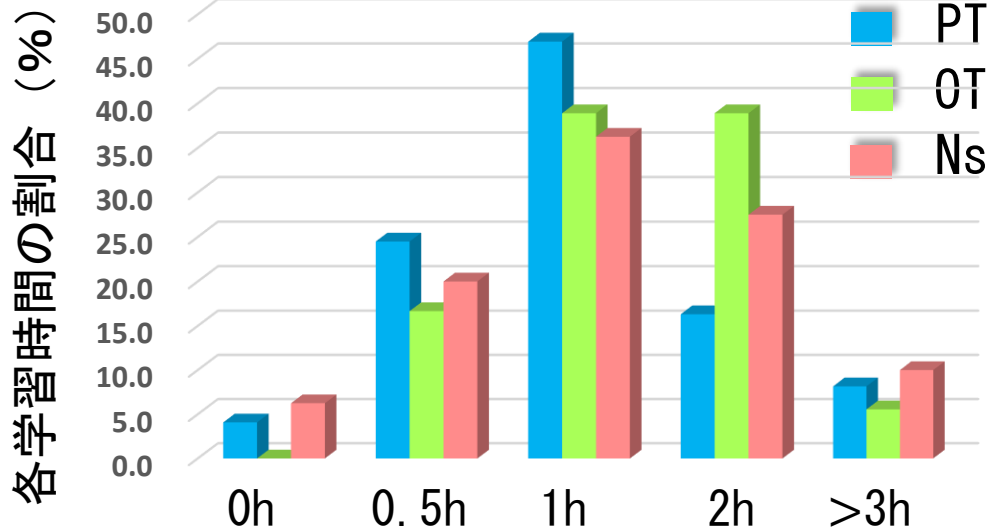
全学科の自己学習時間



1人あたりの自己学習時間



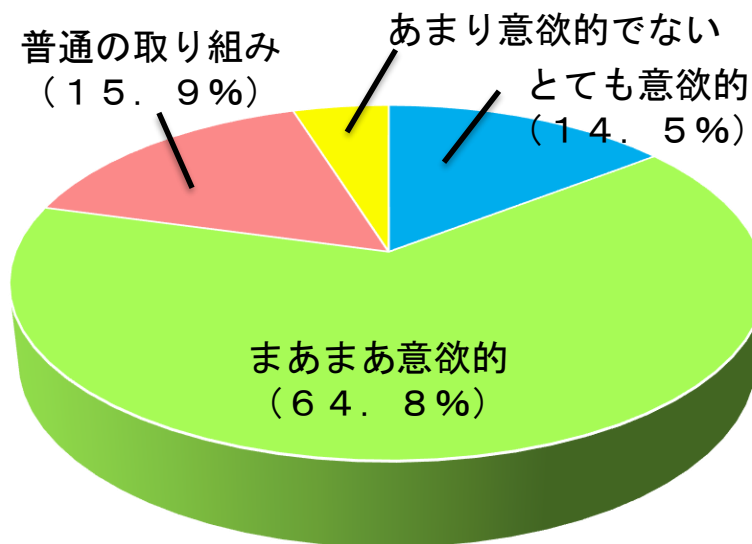
自己学習時間分布の学科比較



昨年度と比べ、今年度の学習時間は全体的に減少した。特に、学習時間が最も多かったグループが1/3ほどの数に減少し、1時間の学習グループが1.4倍に増加した。そのため、学生1人当たりの平均学習時間（右上）や各学科の学習時間の分布パターン（右下）も学科間における差がごくわずかになった。

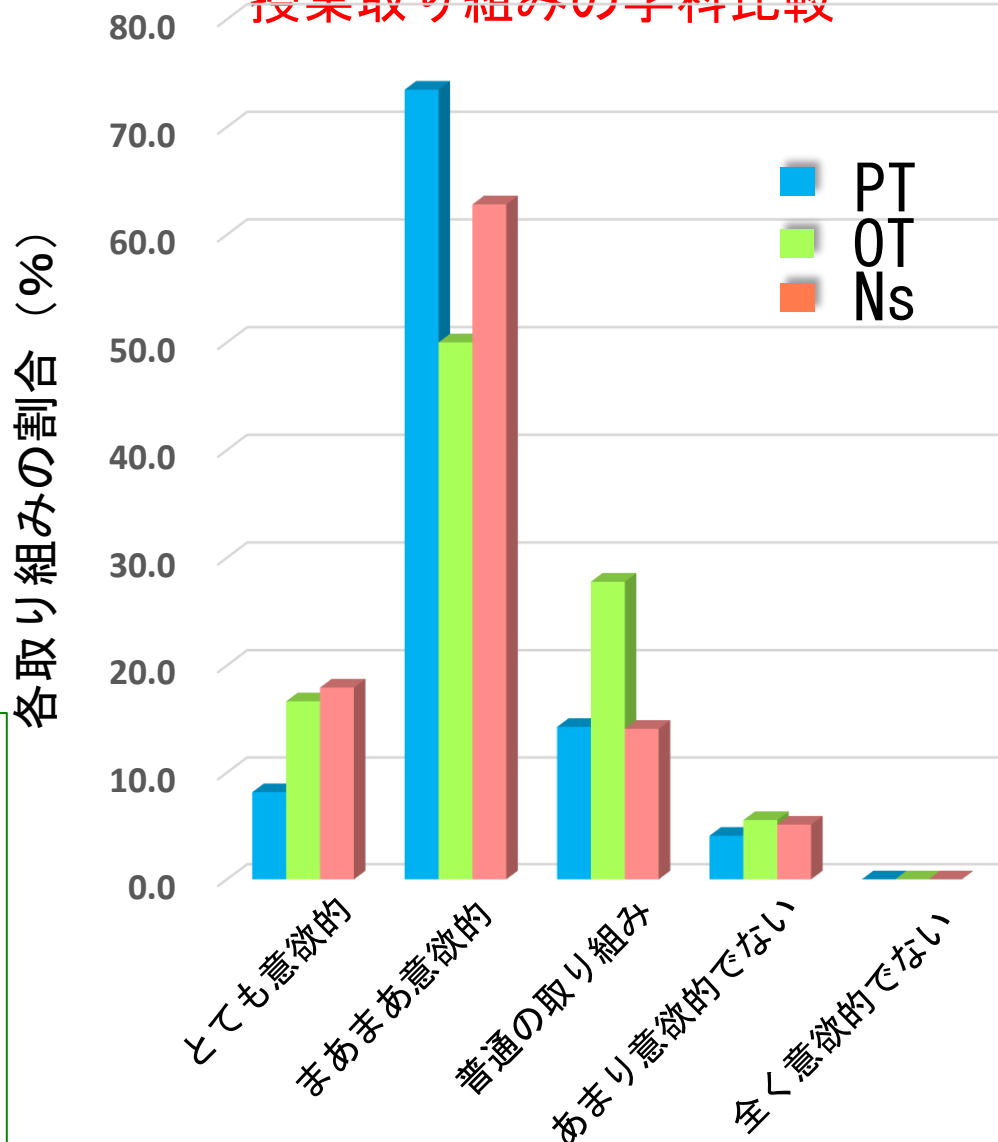
Q 3. 授業にどのように取り組んできたか

全学科の授業取り組み



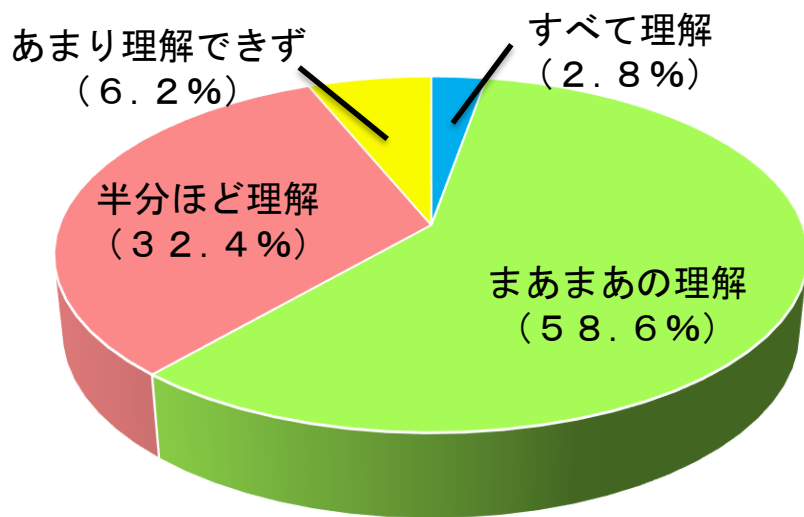
授業に対する取り組みは、3学科ともに比較的意欲的であったと判断される。昨年度と比較しても概ね良好な状態であったと考えられる。ただ、一方では「とても意欲的」という学生をまだまだ増やす余地はある。学生対応における創意工夫により、学生の学習意欲のさらなる向上をはかりたい。

授業取り組みの学科比較

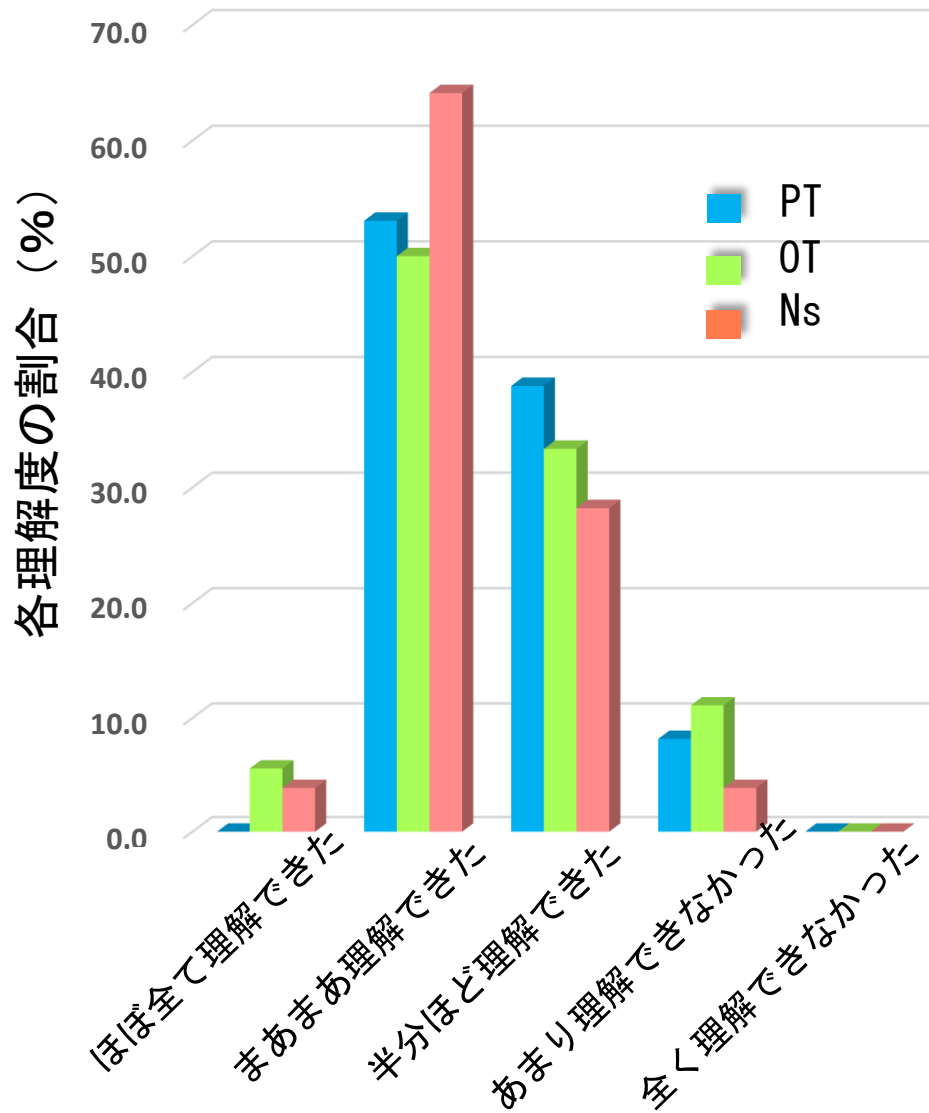


Q4. 授業内容をどれくらい理解できたか

全学科の授業理解度



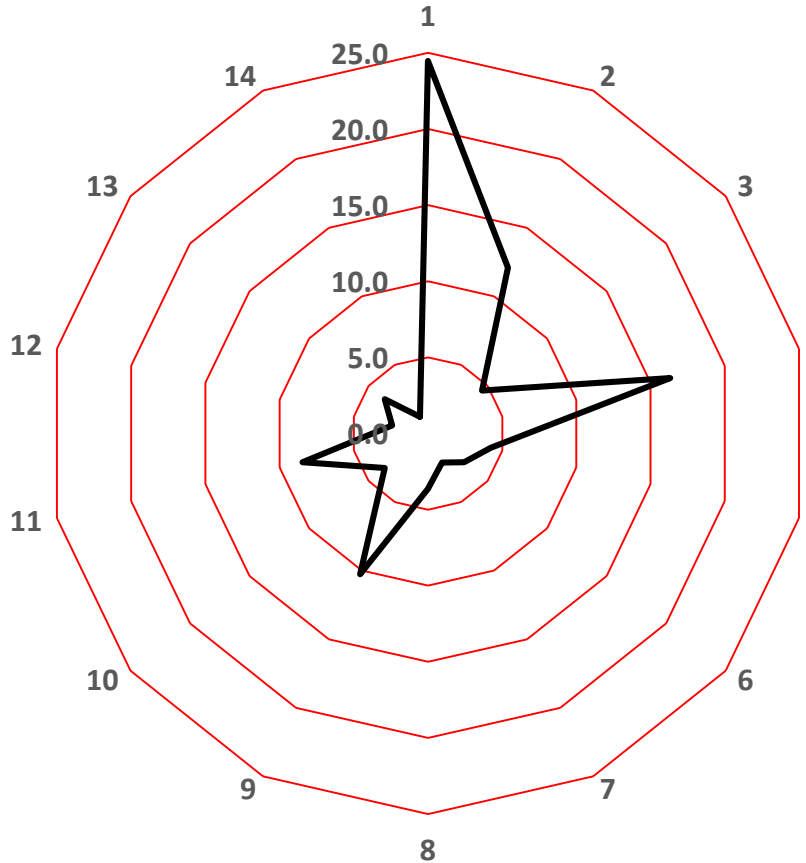
授業理解度の学科比較



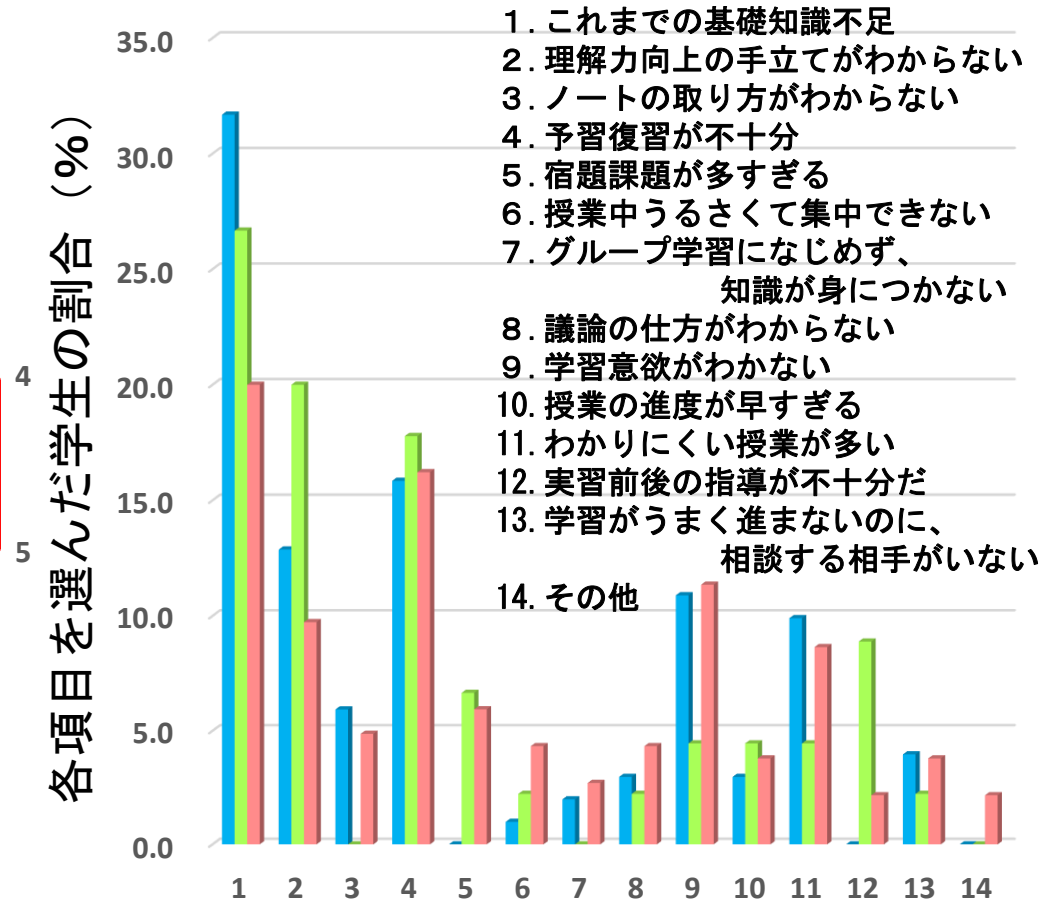
3学科における理解度にはほとんど差異がないと判断されるため、今年度も概ね良好な理解がなされたと考えられる。学校全体では、61.4%の学生が「まあまあ理解できた」＋「全て理解」であったと回答しており、この傾向は昨年度から続いている。ただ、グラフからも読みとれるように、さらなる理解が得られるような授業改善や個別指導を重ねていくことは可能と考えられる。

Q 5 ~ Q 6 . 理解不足の原因は何か 回答は複数選択

全学科の理解不足の原因



理解不足原因の学科比較

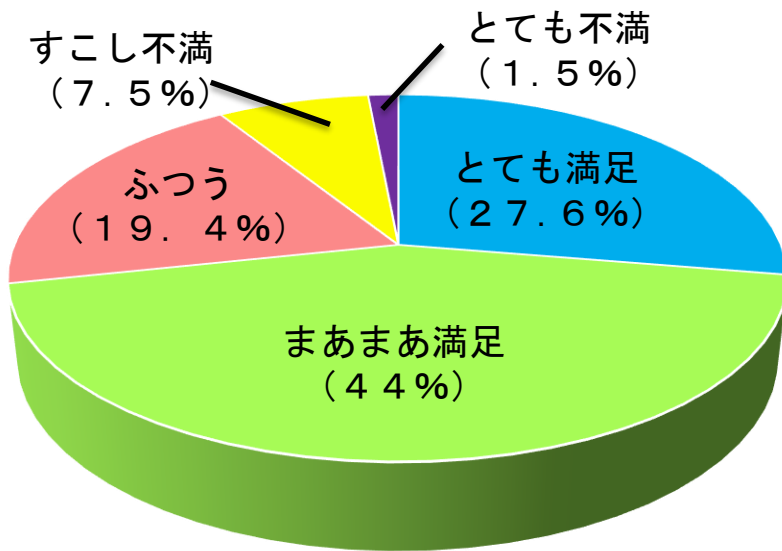


1. これまでの基礎知識不足
2. 理解力向上の手立てがわからない
3. ノートの取り方がわからない
4. 予習復習が不十分
5. 宿題課題が多すぎる
6. 授業中うるさくて集中できない
7. グループ学習になじめず、
知識が身につかない
8. 議論の仕方がわからない
9. 学習意欲がわからない
10. 授業の進度が早すぎる
11. わかりにくい授業が多い
12. 実習前後の指導が不十分だ
13. 学習がうまく進まないのに、
相談する相手がいない
14. その他

「もし少しでも理解できないところがあったとすればその原因は何か」という質問で、1、2、4、9、11などが理解不足の原因であることが明らかとなった。「その他」の理由としては、「授業の間隔が空き過ぎている」、「換気扇がうるさい」、「テストの日程が集中していることが多い」、「学内実習が多く、リアルなアセスメントができない」、「グループ学習では、クラスでのいじめがあったから」、「もともと仲良くななく、友達もいなくて何も面白くなかったから」等により、学習に集中できなかったり、理解の妨げとなったようである。理解不足の原因をできるだけ少なくする対応を実施して行きたい。

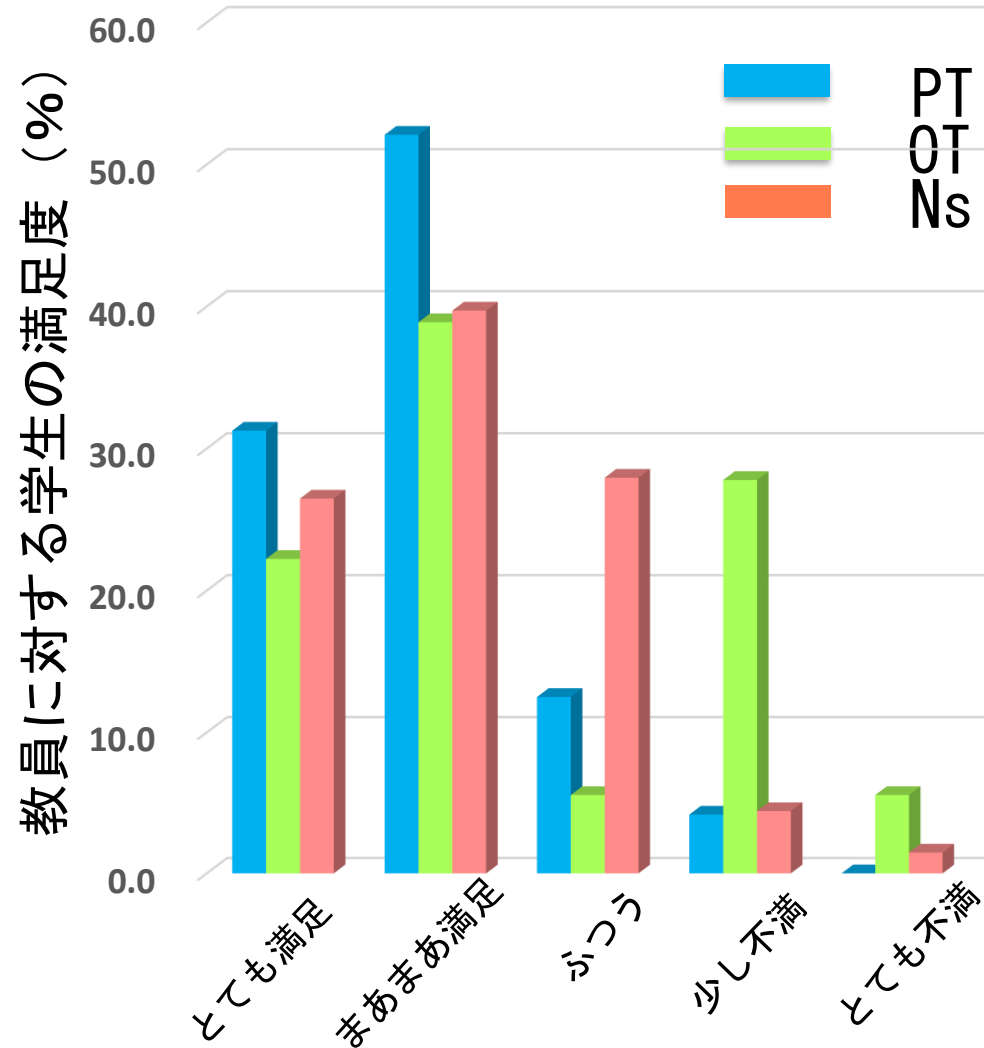
Q7. 本校教員に満足しているか

全学科の教員満足度



教員に対する学生の満足度を昨年度と比べると、「とても満足」が6%増え、「まあまあ満足」が11%減少した。また、「とても不満」、「少し不満」、「ふつう」の合計が5.5%増えていた。それゆえ、昨年度の「まあまあ満足」の一部が「満足側」と「不満側」に分かれてしまったと考えられる。不満側の学生をフォローしていくために、今後も学校全体で教育や学生対応をより丁寧に継続して行きたい。

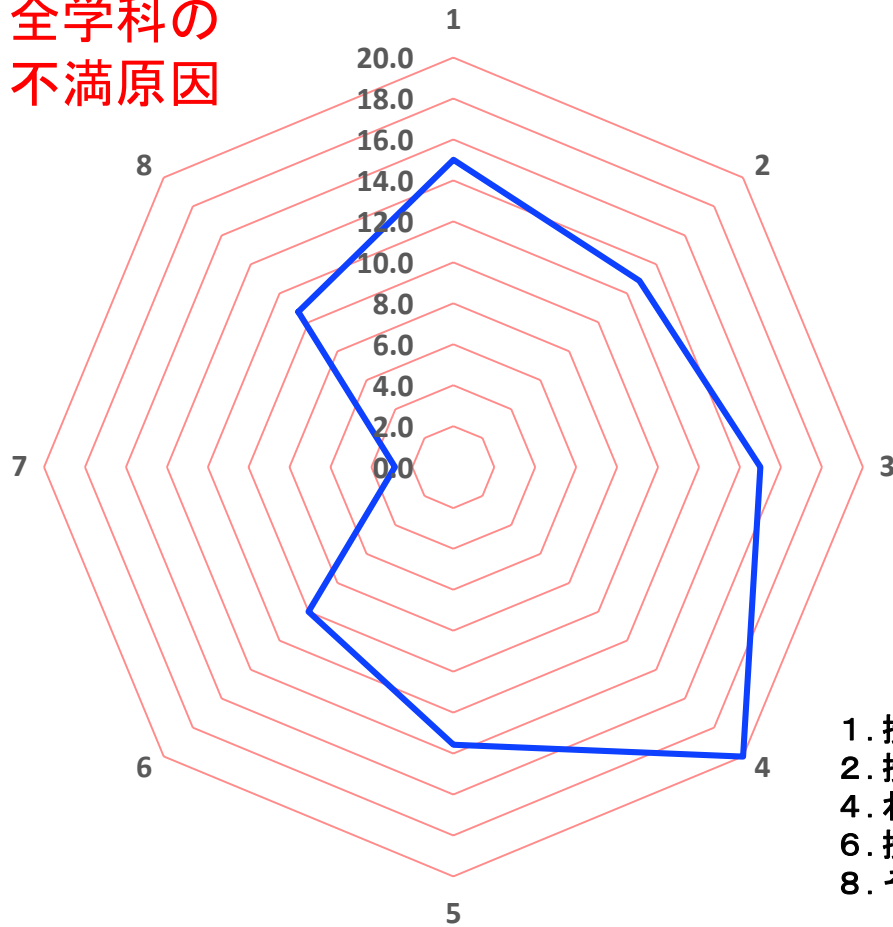
教員満足度の学科比較



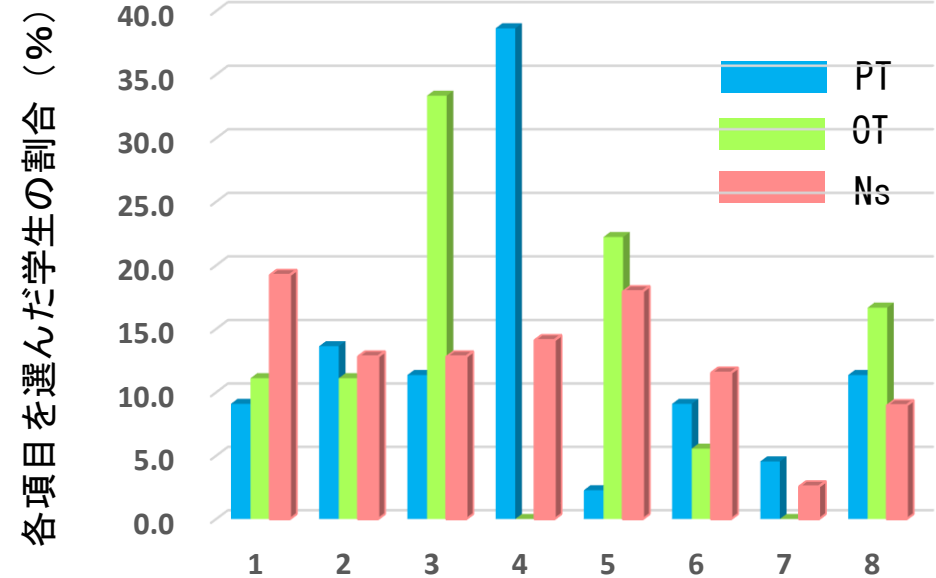
Q 8 ~ Q 9 . 教員に対する不満の原因は何か

回答は
複数選択

全学科の 不満原因



不満原因の学科比較

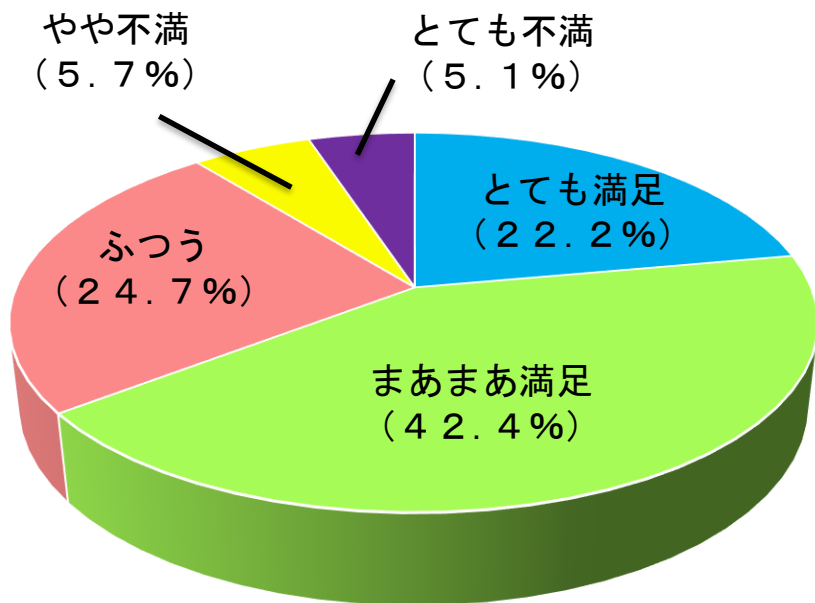


1. 授業の楽しさ面白さを伝えてくれない
2. 授業や実習の進め方が早すぎる
3. 疑問や質問の対応が丁寧でない
4. わかりやすい資料を配布しない
5. 学生の人権に配慮しない
6. 授業中うるさくても注意しない
7. 十分な授業の準備をしない
8. その他

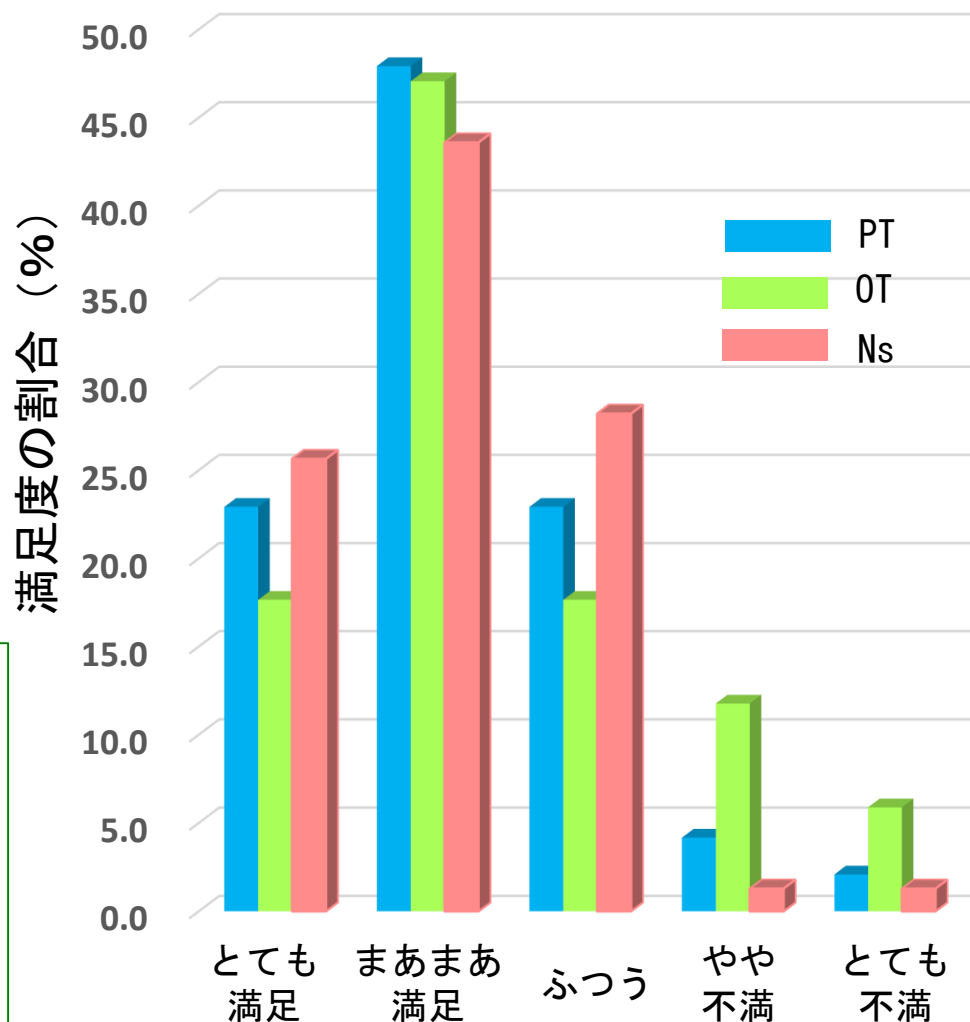
「少しでも教員に不満を感じることがあれば、その原因は何でしょうか」という質問8に対して、4、5、1、3が原因と回答した学生が多かった。8の「その他」の理由としては、「秘密を守らない」、「臨床現場での知識をもう少し教えて欲しい」、「FB中の無駄話が長いし、見下すような発言がある」、「早く授業を終える」、「マイクに声が入らず、聞こえない」、「技術テストの時クリアしてた項目なのに不可にされた」、「寝ている生徒が多い」、「問題の答えを言ってくれない」、「好き嫌いで学生の対応の差が激しい」、「質問できない雰囲気」、「頭が良い先生は多いけど、人間として足りなさすぎて実習に一緒に行くと問題起こしたり、遅刻したり頼りないどころかいい迷惑で恥ずかしい」等があった。「教育の進め方に関するもの」だけでなく、「学生の人権に関する問題」も含まれているため、慎重に対応していきたいと考えている。

Q 1 0 . 本校の学習環境に満足しているか

全学科の環境満足度



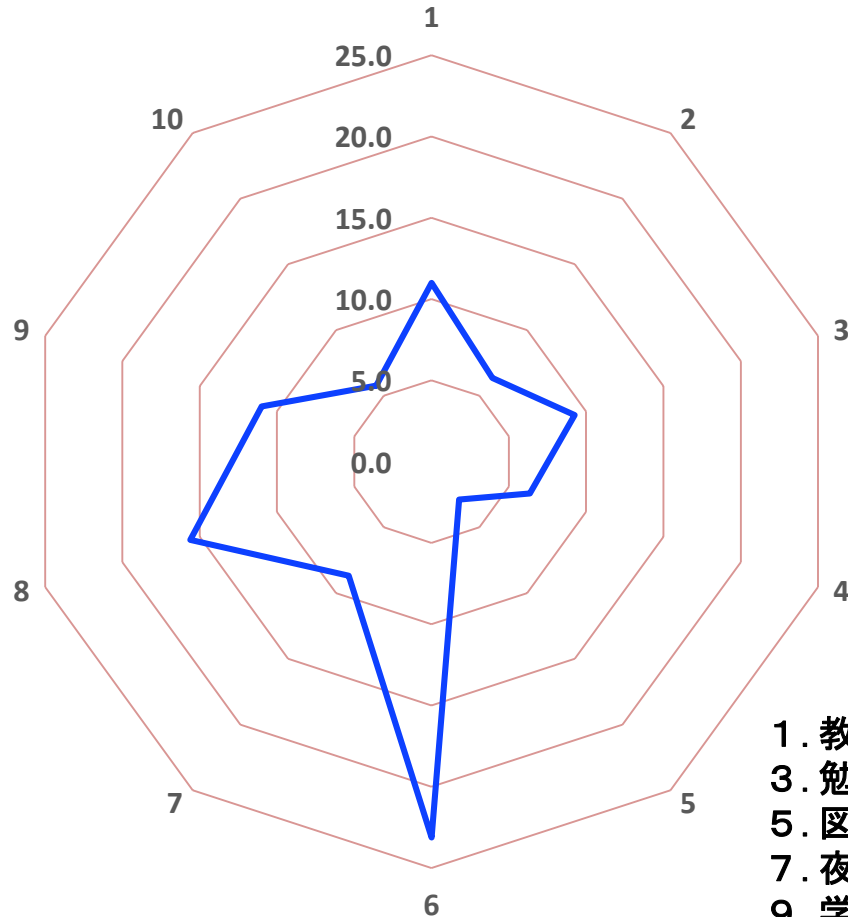
環境満足度の学科比較



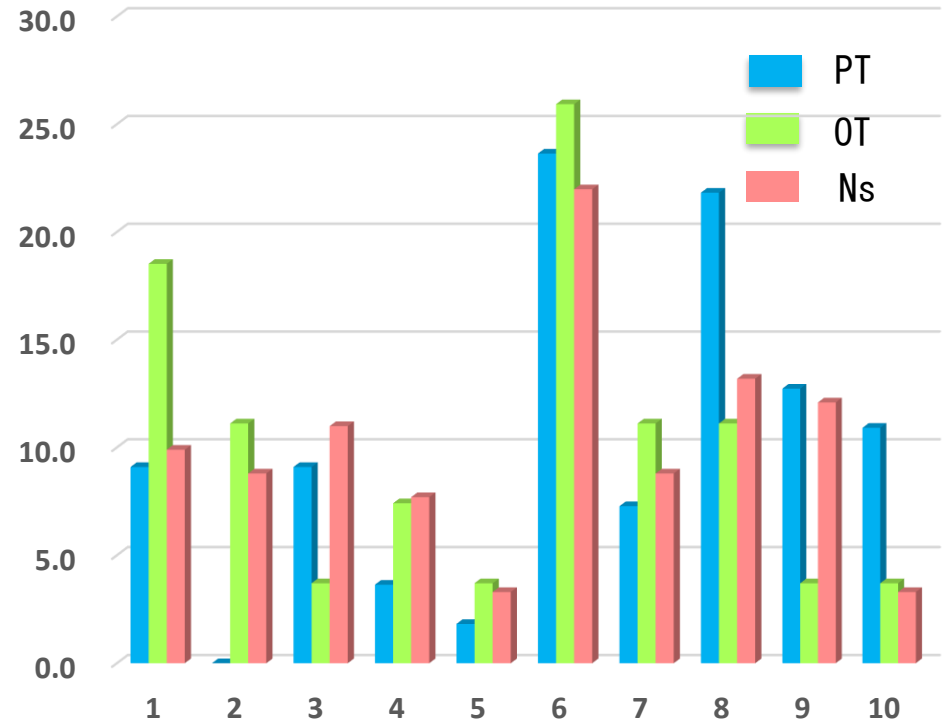
昨年度のデータとの比較では、今年度の全校的な傾向はほぼ同じ結果であった。各学科の満足度には多少差異が認められたが、「まあまあ満足」+「とても満足」の合計が65%ほどになった。このことは、毎年、計画的に学習環境を改善してきたことが好評価につながってきており、最近の数字に現れていると考えられた。

Q 1 1. 教育環境に対する不満は何か

全学科の不満原因



不満原因の学科比較



1. 教育の質保証不十分 2. ハラスメントまがいの教職員や学生
3. 勉強する気のないクラスメート 4. 設備機材が不十分
5. 図書館が利用しづらい 6. 授業料や他にかなりの費用
7. 夜遅くまで学校施設を使えない 8. 軽食などの学生食堂がない
9. 学生のくつろぎスペースがない 10. その他

[教育環境に少しでも不満を感じる場合の原因は何か]の質問に対して、6、8、1が多かった。「施設の問題」は本校の将来構想に関する重要な検討課題であり、計画的な進めて行く予定であり、「授業料や他にかなりの費用」に関しては「再試代」に対する要望も多く、できるところから改善したい。「教育の質保証」については、本質的問題として改善の方策を検討中している。

Q 1 2 . 教育環境に不満を感じる

「その他」の原因や理由

以下は、「教育環境に少しでも不満を感じることがありましたら、具体的に記載してください」というQ 1 2の質問で皆さんから頂いたご意見です。具体的な回答はQ 2 0 およびQ 2 1で回答させていただきますが、「教育の内容」、「ハラスメントの問題」、「売店などの施設」、「ビジュアル的な面を取り入れた施設・設備の整備」、あるいは、「再試験代」など日頃から学生の皆さんが感じておられる問題は、どれも重要な項目と理解しております。しかし、一方では、より包括的な解決策を講じていかなければならない側面もあります。不自由、ご不便、あるいは、不快なことがないように暫定的な対応を含めて色々と問題解決をはかって参りたいと考えております。すぐにでも対応すべき事案が生じましたら個別対応させていただきます。是非、担任、学科長、その他の教員、あるいは、校長や副校長にご相談下さい。

理学療法学科

- 1) とにかくお金がかかりすぎるので、再試験代だけでも安くして欲しい。
- 2) 再試代が高い。
- 3) 特になし(4件)。

作業療法学科

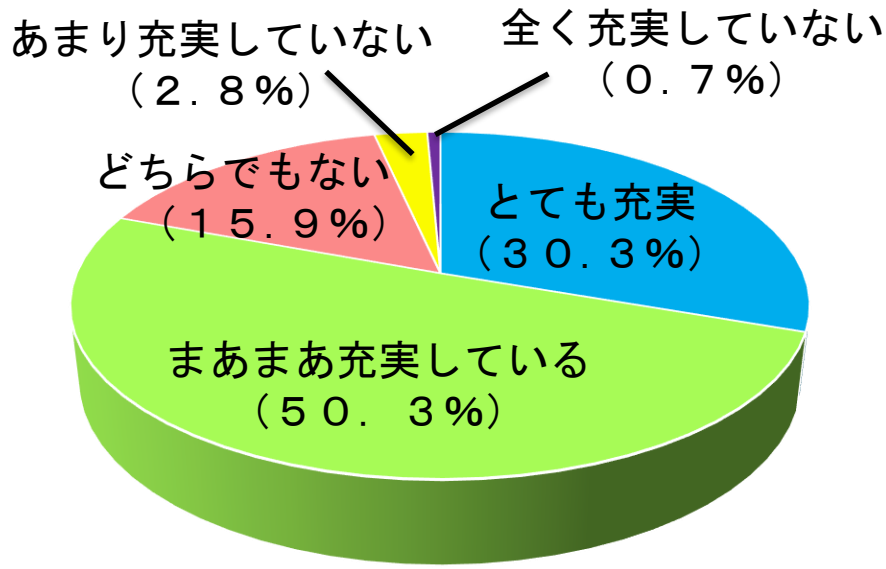
- 1) ハラスメントまがいというか(不快なことがあった)。

看護学科

- 1) ビジュアル。
- 2) 売店が欲しいです。
- 3) せっかく他学科(3学科)もある学校でチーム医療を学べると思ったのに、実際何も合同授業がなく残念。

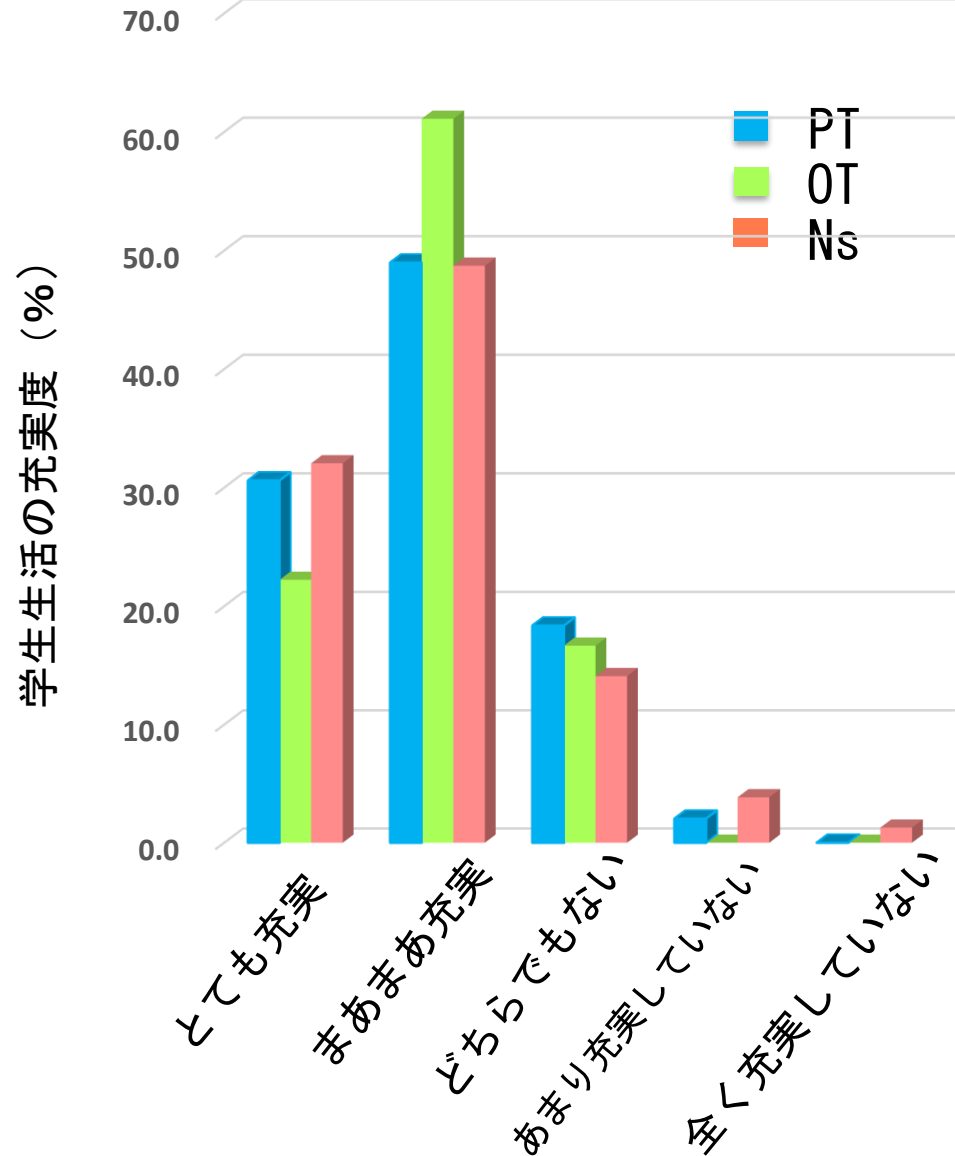
Q 1 3 . 学生生活は充実しているか

学生全体の充実度



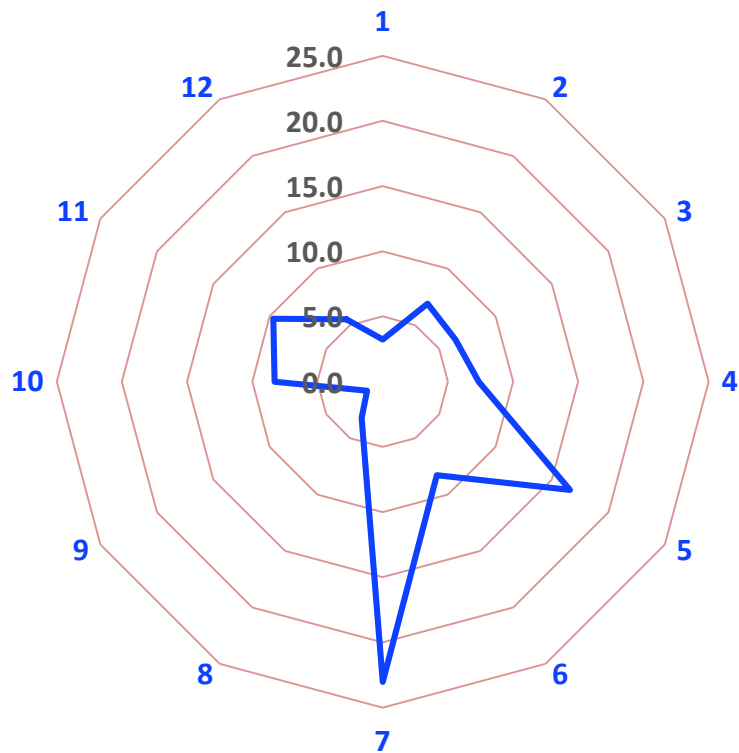
コロナ禍における学生生活の充実度は、学生全体であっても、3学科ごとの調査でも、それなりに高い状態であることが明らかとなった。そのため、この質問項目に対する結果は、本校としても、ある意味、望ましい状況にあると考えている。ただ、今後は、徐々に学科間の交流を深める課外授業やイベントなどの開催に向けて、より積極的な対応をはかっていきたいと考えている。

充実度の学科比較

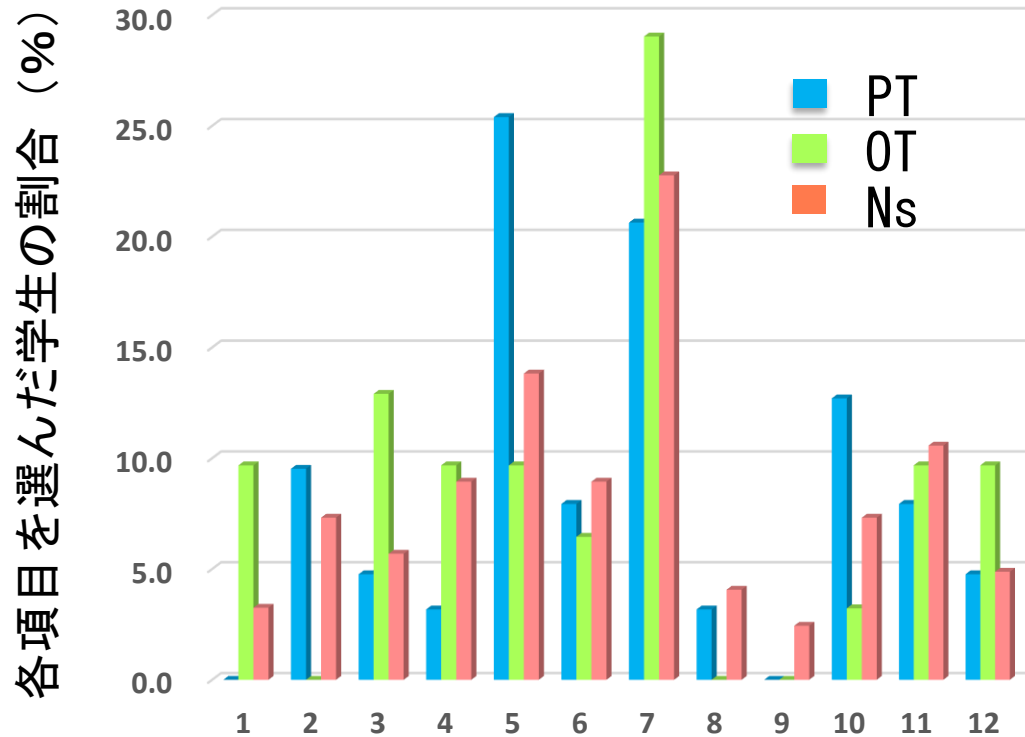


Q 1 4 . 学生生活が充実していない原因は何か

学生生活が充実していない原因



充実していない原因の学科比較



「少しでも学生生活が充実していない場合、その原因は何か」という質問に関して、学生回答で多かったことは7、5であった。また、6、11、10、2などがその次の要因となっていた。「病院実習」や「授業の理解不足」などからくる不安や焦りに対しては、教育的な面から極めて重要な事柄と受け取っており、一人でもそのような問題を克服できるような対応を、現在、鋭意検討している。

1. アルバイトがあまりできない
2. 交友関係が築けていない
3. サークル活動が十分できない
4. 課題やサポートが多すぎる
5. 授業が理解できない焦りがある
6. 学習に意欲的になれない
7. 病院実習が不安である
8. 本校が第一志望でなかった
9. 学びたい学習内容と異なる違和感がある
10. 経済的にゆとりがない
11. もっと遊びたいのに遊べない日々が続く
12. その他

Q 1 5 . 学生生活の充実度が低い

「その他」の原因

理学療法学科

1) 特になし (3件)

作業療法学科

1) なし (3件)

看護学科

- 1) 冬寒くて凍える。
- 2) コロナ禍で病院実習に行けないのは仕方がない。
- 3) 事例患者でチームカンファレンスを開く。
- 4) 同じ内容を学び合う。
- 5) クラスの空気感が好きじゃない。
- 6) 女の子同士のいざこざが怖い。
- 7) 家から遠い。

回答：Q 1 4 の「その他」の原因は、ほとんどが看護学科からのものですが、「暖房設備の問題」、「コロナ禍での病院実習などの制限」、「他学科あるいは異なる学年と学び合う連携授業」、「クラスの雰囲気やクラスメイトとのトラブル」、さらには、「通学の不便さ」などがありました。学生生活を充実させる方策は常に私たちにとっての大きな関心事であり、実施が可能なことから速やかな対応をはかりたいと考えております。

Q 1 6、Q 2 0、Q 2 1などで皆さんの要望を自由記載して頂いておりますので、ここで記載して頂いた問題等に対してもQ 2 1で回答させていただきます。皆さんからの忌憚のないご意見は、私たち教職員にとっては、「何を優先させて皆さんの学習環境を整備し、学生生活を豊かなものにしていくか」を考える重要なヒントになります。今後も、是非、ご意見、ご要望をお寄せ下さい。

Q 1 6 - 1 . 3 学科交流促進のためのご意見

本質問は今年度初めて実施させて頂いたもので、本校としては極めて重要な項目と位置づけております。日頃、皆さんがお感じのことを、是非、直接校長

(hayashi@hokuho.ac.jp)までお送りいただければ、学生のご意見として会議などの資料とさせていただきます。

理学療法学科

- 1) 「学校祭などのイベントで合同チームを作る」「学校祭」
- 2) 「運動会をする」「運動会をする」「学校祭や体育祭混合チームにするなど」「合同体育」「球技大会」「コロナ禍で色々難しいものはあるかもしれませんが、行事を増やすとかですかね?」「体育の授業を一部合同化してみる」「体育祭などでいいと思います」「3学科混ぜた体育大会」「球技大会開催」
- 3) 「行事を増やす」「学校行事など」「行事内容を増やす」「交流するイベントを設ける」
- 4) 「実技の練習など先輩たちが関わって教えていただけるタイミングなどがあると、授業内容と同時に交流が深まると考えます」
- 5) 「3学科に共通する内容の勉強を時間割の空きコマでやる」
- 6) 「食堂を作って欲しい」「食堂を是非作って欲しいです。毎日の昼食の困っています。午後の授業に集中できません。」
- 7) 「3学科の交流を深めたくない」
- 8) 「すみません思いつきません」

作業療法学科

- 1) 「スポーツ大会」「学校全体のイベントを実施する(今年度で言えば、学校祭の他に、チーム、学科や学年を混ぜた体育祭など)」「3学科合同で実習、意見交換を

Q 1 6 - 2 . 3 学科交流促進のためのご意見

行う」

2) 「学校祭を行う」「たまには文化祭のようなものをやるのがよいのでは」「イベント(学校祭など)」「イベントを増やす」

看護学科

(交流会を介した学び)

1) 「3学科の学生参加のスポーツ大会や勉強会を定期的で開催して欲しい」「特別講義を一緒にする」「技術披露会みたいなやつ」「事例を用いた患者へのケアプランを他職種連携を意識して考える」「事例患者でチームカンファレンスを開く」「同じ内容を学び合う」

2) 「全員で合同授業をするのではなく、例えば看護や理学、作業の学内実習の時に他職種連携をできる場を設けて、この患者には今どんなことが必要なのか、そのために自分たちはなにをすればいいのかなどを話し合う実習時間を設けるなどすれば、今後の臨床でも役立つのではないかと考えます。」

3) 「例えば、注意が必要な疾患に対する車椅子移乗時の注意点やコツはPT学科の方がよく学ばれていると思うし、疾患に対する作業の不足を補ったりハビリの行い方をよく学ばれてるのはOTの方々だと思うので、これからさまざまな患者さんを看護する上で必要になってくる知識を合同授業をすることで学べると思う。看護の立場からは情報から患者さんの状態をアセスメントすると、どのようなことがもたらせられるか、理解の一助となれると思う。」

4) 「コロナで交流は難しいが、学生同士で理学の関節についてだったり、作業の高齢者とのレクについてだったりをお互いにおしえ合えたらいい。」

Q 1 6 - 3 . 3 学科交流促進のためのご意見

看護学科 5) の続き

(イベントによる交流)

5) 「理学とか作業は、パーティーみたいなことをたくさんしているのに、看護だけ何もしなくて悲しいです。少しだけでもいいから、学祭の大きさレベルじゃなくてもいいので2ヶ月に1回くらいはそういうことをしたらいいと思います」 「学祭を2日にするとか、行事を増やす」「学校全体でのイベントをする(ハロウィン、クリスマス)など」「実習の発表の時に他学科の人にも聞いてもらうなど」「スポーツ大会や学祭などのイベント」「行事を増やすべき」「学祭などで十分だと思います」

6) 「みんなで別の学年にお手紙の書き合いっこをする」「学祭などの学校行事で、交流を深める」「定期的なレクリエーション」「球技大会などの行事を行う」「学祭などのイベント」「行事で3学科合同の催しを設ける」「交流会はあり」「授業は難しいと思うが、体育祭などのような行事を増やして交流する場をつくる」「学祭などの学校行事で交流を深める。」「学校祭でいいと思います」「定期的なレクリエーション」「球技大会などの行事を行う」「学祭などのイベント」「遠足とか?」

7) 「交流しなくても良いと思う。現に交流したことないし、それに対して不満を抱いたことがない」

施設やその利用に関して

8) 「学生ホールの増設」「教室を近い場所に配置する」

回答：Q 1 6 - 1 ~ 1 6 - 3 でのご意見は、1) 交流会を通じて学びを広げる・深める、2) スポーツ大会などの交流会を通じて親睦をはかる、3) 2) に関しても学祭などを中心にイベントを充実させる、4) 食堂、学生ホール、教室の配置などや施設面の問題を要望する、などに集約できるかと思われます。

Q 1 6 - 4 . 3 学科交流促進のためのご意見

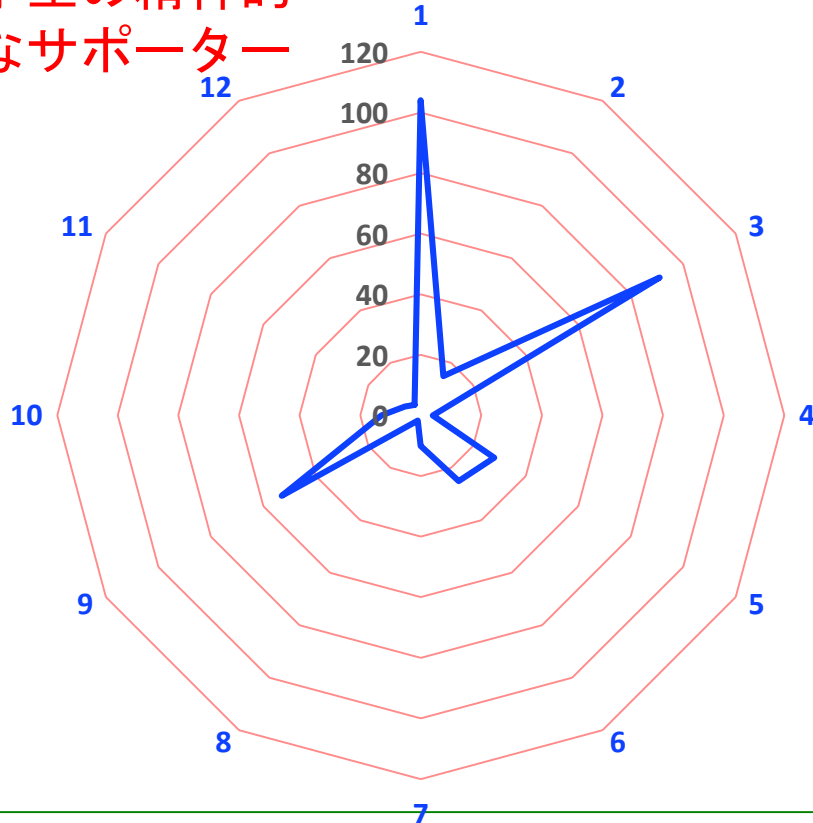
ただし、5) 逆に、「交流会は必要なし」とする意見もありました。とにかく、皆さんの貴重なご意見やご提案には感謝申し上げます。

ただ、もし3年前に始まったコロナ禍が発生しなかったら、おそらくは1) ~ 3) はそれなりに進んでいたことと思われそうですし、4) の一部である学生ホールや中庭の利用の仕方、当時教員から複数の利用案が意見として出ておりました。そう考えると、教育活動にもコロナ禍が強く影響を与えてきたと思われそうです。また、各学科のカリキュラムによる制限や交流会を望まない方も各学科にいますので、自由参加などの条件下で交流会あるいはその他のイベントを進めていくというスタンスが最大公約数的な考え方になると考えられます。

施設等の改善も年次計画でプラン化し、理事会を通して議論を進めて行く必要があると感じております。

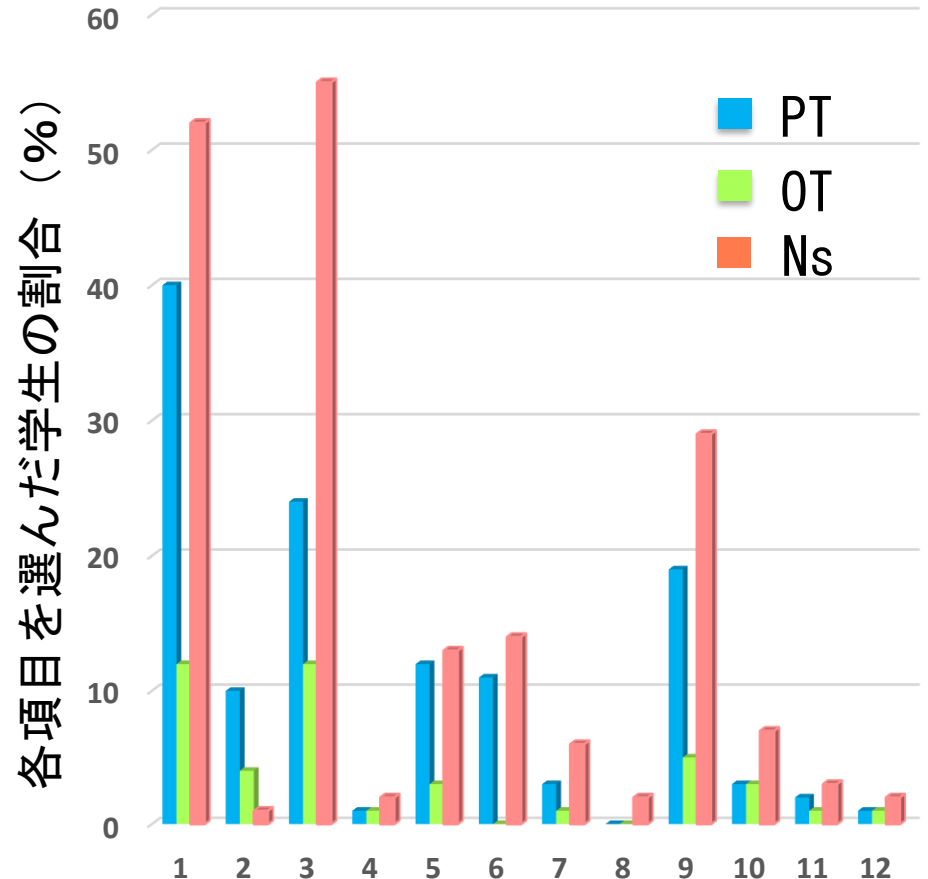
Q 1 7 ~ Q 1 8 . 精神的なサポーターは誰？

学生の精神的なサポーター



全校的には、1の「学校内の友人や知人」や3の「家族や親戚」がサポーターであることが数字の上からはっきり示されていたが、学外の知人・友人や担任や教員も頼りになっていた。12の「その他」を選んだ学生からは、恋人、アイドル、さくらさんとこはるさん（看護学科の実習で使う人形の名前）、SNS上の人（知人）などが挙げられていた。

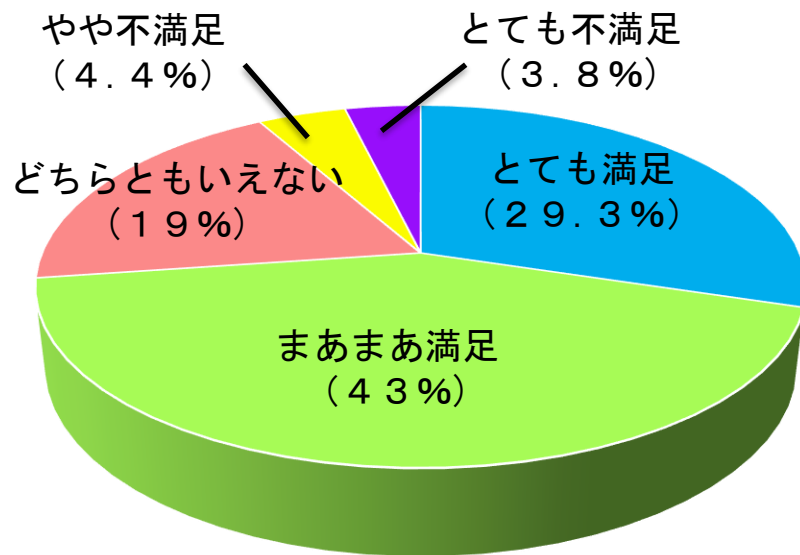
精神的なサポーターの学科比較



1. 学内の知人や友人
2. サークルなどの先輩や友人
3. 家族や親戚
4. 外部講師や実習インストラクター
5. 学科の教員
6. 担任
7. 事務職員
8. 理事長、校長、副校長
9. 学外の知人・友人
10. アルバイト先の知り合い
11. 誰もいない
12. その他

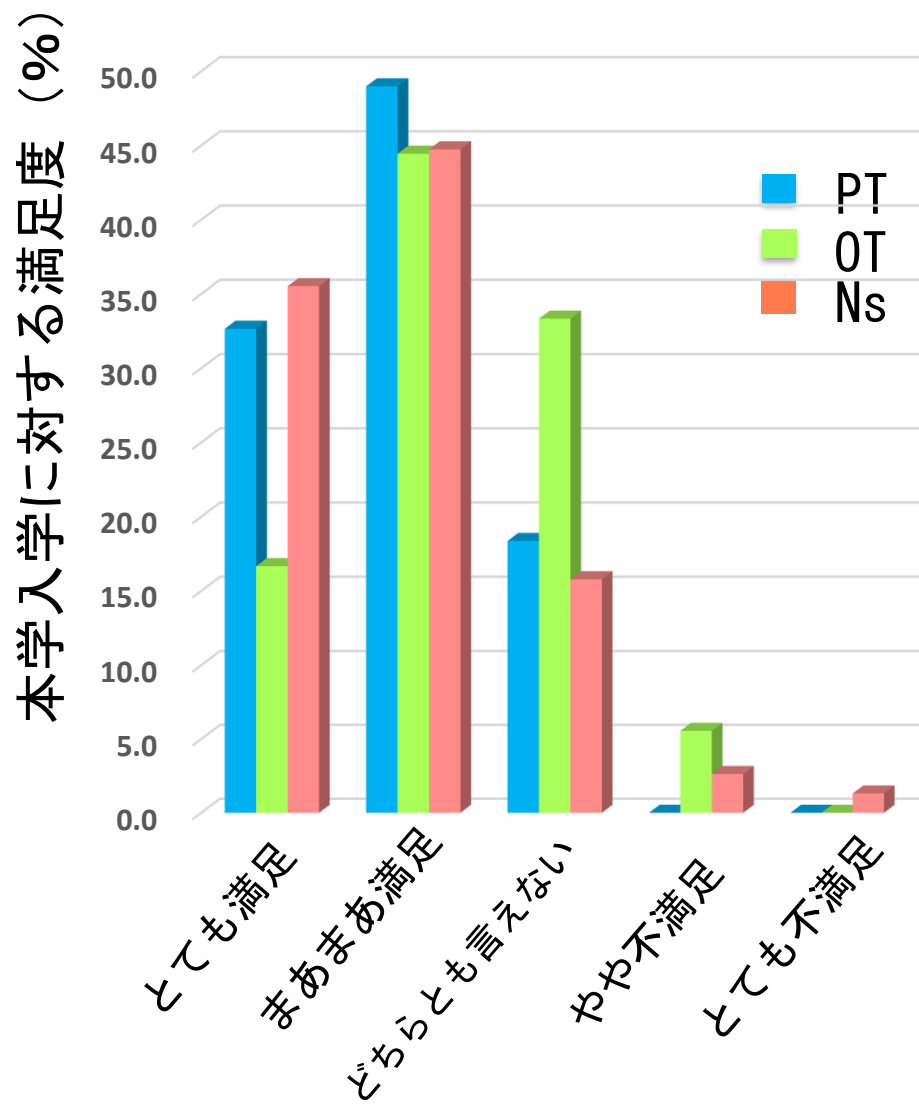
Q19. 本校に入学してよかったと思うか

本校入学の満足度



本校入学後の学生満足度は全体的にはほぼ昨年度と同様であった。「とても満足」と「まあまあ満足」の合計は73%ほどであり、昨年度より肯定的な意見を持っている学生の割合が、若干であるが、増えていることはありがたい。今後も、学生の満足度を高める対応を継続して行いたい。

入学満足度の学科比較



Q 2 0-1 . 本校入学の決め手や 本校入学後の満足度判断の理由

Q 2 0の質問に曖昧さがあつたため、学生の回答は「本校入学の決め手になったこと」と「入学後の満足度の根拠」の2つの回答に分かれてしまいました。しかし、それら2つの回答であっても、プラス評価とマイナス評価の2つに分けることができますので、**プラス評価は赤字**で記載しましたが、本校の特徴に関わる内容と関連していると思われる。一方、**マイナス評価は青字**で記載しました。ここでは全ての回答を記載しておりますが、マイナス評価に対して学校の回答を黒字でまとめましたので、ご一読下さい。

理学療法学科

1) オープンキャンパスでの学校の雰囲気。

2) **お金がかかりすぎる。**

回答：Q 2 1-1の3) をご参照下さい。

3) 自分の興味ある分野へ進むことができた。

4) 先生との距離が近く相談しやすい。

5) 家から近いため。

6) 特になんの問題もなく楽しめている。

7) 環境が良かった。

8) 自分の知識となっているから。

9) 旭川にここしかないから。

10) 友達さいこー！

11) 学校祭

Q 20-2. 本校入学の決め手や 本校入学後の満足度判断の理由

理学療法学科（続き）

12) 交友関係 13) 専門的な勉強が楽しい。

14) 本能で選んでた。15) 学びたいことが学べて特に不満がないため。

16) 外部講師の授業があまりに多すぎるのと、講師によって授業の質にバラツキがある。無意味な時間に思えて仕方の無い授業も多く、テスト範囲や形式など細かに教えてくれる講師とそうでは無い講師の成績の落差があまりに酷い。試験に受かるための授業なら必要では無いと感じるので、今後に生かせる授業を増やして欲しいのと同時に再試代を払ってやり直すことに勿体なさやプレッシャーを非常に感じる。できれば外部講師の試験レベルのバラツキを抑えて欲しい。講師が例年より代わった時点でテスト対策のしようがなくなるのはあまりに不平等だと感じる。ただ在籍してる指導員の各位には大変お世話になっています。

回答: 厳しくも冷静なコメント、ありがとうございます。実は、「外部講師の授業評価を学生の皆さんに行ってもらい、その結果を各講師にフィードバックさせて頂きながら、教育の質の担保をして行く」という対応が本来あるべき姿と考えております。ただ、このような対応に関しては、まだ、外部講師との十分な話し合いができていませんので、制度として運用ができておりません。外部講師の多くは医大の臨床講座（医局）に依頼しておりますが、医局運営のため毎年のように講師が変わることもります。そこで、もう一つの提案としては、講師が変わっても教育の継続性が維持できるように、前任の非常勤講師の教育料や試験問題を提供して参考にして頂く対応もあるかと感じますので、そのような対応は個別で行っております。

Q 20-3. 本校入学の決め手や 本校入学後の満足度判断の理由

作業療法学科

- 1) 先生方が優しい。
- 2) 仲間がいる。
- 3) 楽しそうに学べそうだったから。
- 4) 向いてないという思いもあるが、学べてよかったこともある為。
- 5) クラスメイトの仲が良かったことや、小規模で過ごしやすいこと
- 6) 教員のハラスメント

回答:教育の現場でのハラスメントの問題は、実はかなり難しい側面があります。一般的には、学生の皆さんの平均的な特徴も毎年少しずつ変化しておりますし、学校によっては様々な修学上の問題を抱える学生も増えつつある状況もあります。他校の対応をみると、「教職員に対してハラスメントの問題に関する研修会」や「変化しつつある学生さんに対応する接遇研修会」を開催したり、「学生が心の問題を抱えることもあることから、カウンセリング制度の導入」などを行う学校も、最近、増えてきております。このこれらの点からも、本校でも、各種研修会開催などを検討していきたいと考えます。

看護学科

- 1) 先生に勧められた。
- 2) 友達がいるから。
- 3) 自分にあった学習レベルだから
- 4) 看護師を本格的に目指しているから。
- 5) 素敵な教員ばかりです。

Q 20-4 . 本校入学の決め手や 本校入学後の満足度判断の理由

看護学科（続き）

6) 教員らの連携が取れていないのに学生に対して強く発言したり、教員の学生に対する好き嫌いがわかりやすすぎて呆れる。

回答：基本的にはどの学生に対しても教員は公平に接するというスタンスを取っており、普段から学生さんとの信頼構築をしていると期待しています。ですから、各教員は公平な対応を心がけている（つもりである）と思われれます。ただ、「好き嫌いをあらわにする」というケースが感じられるとすれば、その前の段階で、学生と教員の信頼関係が構築できず、揺らいでいる可能性が考えられます。

また、教員間の連携が取れていないとすれば、各学科内の調整不足と考えられます。各学科では、実習など多くの教員が関わる授業などに関しては連携を深める話し合いが重ねられています。もし不十分な点があれば、是非、ご指摘下さい。

コメントQ20-3の6)にもありますように、ハラスメントにまで発展するようなことがあるとすれば、学校として早期に解決することが望まれます。この種の問題にはデリケートな面を含んでいると考えられますので、学校としても丁寧な対応を進める中で、再発防止策を考えそのための対応を進めて参りたいと存じます。現在、「なんでも相談室」のような制度を検討中であり、「就学上の問題を話し合いにより、解決して行く」ことを目指していきたいと考えます。

7) 友達のおかげ。 8) 家が近い。 9) 親しい友人と学ぶことができた。
10) 看護師免許が取れること。 11) わからないところがあれば、優しく教えてくれる。
12) この学校に来たかったから。 13) 親元から離れられることと、校風です。

Q 20-5. 本校入学の決め手や 本校入学後の満足度判断の理由

看護学科（続き）

14) 家が近いため通いやすい。ほかの学校より授業や実習が楽なため、辛くて辞めようと思わなかった。

15) 技術試験の時、同じ先生に当たった人たちの大半が試験に落ちていたため、評価の仕方とか見方が先生方でかなり違ったのかなと思います。コミュニケーションの力を付けれる授業が少ない。グループワーク授業がもっとあって欲しい。

回答: 学内実習の技術試験では、評価法については事前に話し合いコンセンサスが得られた方法で行っております。現実的には、多少なりとも教員間で差異が出てしまう場合に備えて、全体会議の中で微調整して行くこととなります。コミュニケーションに関するご指摘は、近年グループワークや発表会などを中心としたactive learningの重要性が評価されてます。ただ、この学習方法では予習が必須の前提条件であり、また、通常の授業より時間が必要となります。そのため、各教科目でどのくらいの時間を当てるかという点は議論すべきところです。ご要望のように、もっと増やす可能性を各学科で検討してもらいたいと考えております。

16) 設備が充実している。先生方が優しく、外部講師の先生から実践的な技術や知識を学べる。

17) 先生方が優しく、のびのびと自分に合ったペースで実習や勉強に取り組むことができるため。

18) 教員や事務員が学生のためになるようにサポートしてくれているから。

19) 学校の雰囲気

Q 20-6 . 本校入学の決め手や 本校入学後の満足度判断の理由

看護学科 (続き)

20) 先生方が優しくておもしろいです。先生方は学生のどんな話も聞いてくださる。聞いてくれていると実感できているのは、常日頃先生方が学生達に対して真剣に向き合ってくださっているからだと思います。そして、忙しい毎日でもともに頑張っていてくれる仲間がいることが、日々の辛さを軽減させてくれます。事務の方々も気さくです。学校の雰囲気として、ピリピリしていなくて、不思議だなあ思っています。

21) 学習意欲がない人のおかげで成績がある程度維持できる。

22) 先生やクラスメイトのサポートがあっただけここまで来れたから。

23) 今が楽しいと思えるから。

24) 学校のカリキュラムがひどすぎる (国試前ギリギリまで実習があることなど) こと、教員同士の連携が取れてないことなど。

回答: 看護学科における最終実習は12月中旬までに終わるように予定されています。ただ、本校のカリキュラムではよく時間割の変更がなされますので、余計に焦りを感じるのかもしれませんがね。専門学校のカリキュラムは大学と比べるとタイトであることから、「ギリギリまで」という表現になったことと想像しております。何人かの教員からのアドバイスでは、3年生になったタイミングで、早めに国試の勉強を各自で始めておくのがよいとのことでした。理想的には2年生から3年生に進級する時の3月春休み頃から先ずは自分で国試の勉強を始めることが望ましいようです。教員同士の連携に関しては、Q20-5にもご指摘がありましたが、今後の課題として学科内で協議させて頂きたいと存じます。

Q 2 1-1. 学生からの要望や意見 (Q & A)

理学療法学科

1) 食堂を作って欲しい。

回答: 食堂やカフェテリアなどは、特に冬季の外出したくない時など校内にあって欲しいと感じる方は多いかと思われます。本校の将来構想のテーマの一つになりますが、現実的にはなかなか難しい問題と思われます。ただ、現在は自動販売機の種類を増すことで、少しでも皆さんにとっての利便性を高めて行く方法をまずは検討しております。

2) 再試験代を安くしてほしいです。駐車場代も訳がわかりません。/再試2000円は高い。/再試試験はなぜ2000円なんですか? 学生に優しくないと思います。

回答: ご指摘のように、高いと感じる学生は多いように思われます。特に、何科目も再試を受けなければならなくなると、あっという間にかかりの出費になります。ですから、再試対象者にならないように、普段からよく自己学習をしっかりと頂きたいと思えますし、その学びをしっかりとサポートできるように質問しやすい環境を構築して行きたいと考えています。各学科では担任制の強化をはかり、それらに対応してまいります。

2000円の根拠ですが、授業料を時間数で割ると、だいたい1時間あたり~1500円ほどになります。そのため、私立の専門学校では1000円~2000円ほどの再試代を頂く学校が多いようです。一部の専門学校では無料のところもあります。本校でも一昨年「1000円に変更するべきかどうか」の議論がなされたのですが、メリットだけでなくデメリットも考えられるため、なかなか結論が出ませんでした。駐車場代も含め、今後も引き続き検討して、納得できる結論を出したいと考えております。

3) 授業料が高い。

回答: 他分野や国公立の学校と比べると、私立医療系専門学校や私立大学の授業料はどの医療系学校でも高目に設定されています。私立学校予算の特性に拠ることが主因ですが、

Q 2 1-2. 学生からの要望や意見 (Q & A)

理学療法学科 (続き)

現在のような経済状況では少しでも安くできる対策が取ればと考えます。ただ、国や地方公共団体からの補助金にも限りがありますので、簡単には私立学校としては対応できない問題と申し上げざるをえません。

Q 4) 3階の演習室のエアコンの設置

回答: 3 F の評価演習室、1 F の治療室、基礎医学実習室の3実習室はエアコンを設置中ですので、令和5年初夏から利用が可能となります。

Q 5) トイレの便座を暖かくしてほしい。

回答: そうですね。特に冬季は冷たく感じますし、ウォシュレットもつけて欲しいという要望が他学科からも出ています。本校ではまだごく一部のトイレにしか設置しておりませんので、この問題も検討中です。年次計画で検討して参りたいと考えております。

Q 6) 行事増やしてください。

回答: コロナ禍で学校行事の数が大幅に減ってしまっていますので、どこの学校でも同じ状況かと思われます。特に、医療系の学校では、病院や高齢者施設での臨床実習がありますので、それらの施設とほぼ同じ基準で感染対策を実施してきました。今後、コロナ禍の状況が改善して行くと予想されますので、サークル活動やイベントなどを状況に応じて増やして行うことができると考えております。皆さんも新たなサークルやイベントなどの提案をお願いいたします。

Q 7) いつもありがとうございます。

回答: こちらこそ皆さんのご希望や要望にすぐには応えられず、申し訳なく感じております。しかし、どんな状況であっても、私たち教職員は、常に、学生の皆さんの視点

Q 2 1-3. 学生からの要望や意見 (Q & A)

に立って教育活動を進めておりますし、今後もそうであり続けたいと考えております。

Q 8) 特になし。

回答: 現在なくても、思いついたらいつでもご意見をいただければと存じます。担任、教員、学科長だけでなく、校長や副校長にもご相談いただければと存じます。

作業療法学科

Q 1) 図書館に、文庫本や新書も置いて欲しいです。

回答: 学生さんのための図書購入についてはこれまで教科書や専門書を優先してきておりますが、人気の医療漫画なども新刊図書コーナーに並べてありますので、チェックしてみてください。ただ、本校では、図書館の電子化が将来計画の項目の一つになっておりますので、教養書や一般図書に関して今後どのような対応が望ましいかが、現在検討中の課題であるのご理解下さい。ご不便をおかけいたしておりますが、もう少しお待ち下さい。その間の対応ですが、実は、[旭川市が電子図書館サービスを本年2月から開始しております](#)。是非、登録して豊富な文庫本や新書などの図書借用（ネットで閲覧）を利用して下さい。さらに、本校図書館にも教養書や一般図書は200冊以上は所蔵されております。作業療法学科では一般書を教員室に300冊以上保管しており、どの学科の学生にも開放しております。また、各学科の先生にお尋ね頂ければ、何か興味ある本をお持ちの方もおられると考えられます。医大図書館も正式な利用は可能ですが、現在のコロナ禍で外部からの利用はまだ停止になっているかと思われれます。

Q 2 1-4 . 学生からの要望や意見 (Q & A)

看護学科

Q 1) 授業料が高いのに、施設の設備が古いように感じる。また、トイレを綺麗にしたりしてほしい。

回答: 建物、設備、備品などの改修や補修などに関する本校将来計画の中で検討課題として取り上げられており、理事長・理事会で協議しながら進めていきたいと考えております。そこでは、重要課題に優先順位をつけて検討して参りたいと存じますので、本件も、図書館と同様に検討中であることをご理解いただければと存じます。

Q 2) 冬でも食べるのでアイスの自販機を作って欲しいです。/アイスクリームの自販機がほしい。/アイスクリームの自動販売機が欲しいです。/アイスの自販機が欲しい。/アイスの自販機が欲しいです🍷/アイスの自動販売機を設置してください。/軽食の自販機が欲しいです。/自動販売機の種類を増やして欲しいです。/売店が欲しい。あったかいご飯を食べたい。/売店が欲しいです。/売店を増やしてほしい。/学生ホールや自動販売機などがある一角にドリップコーヒーのコーナーを設定して下さい。

回答: アイスクリームを学内で購入できたり、軽食サービスが利用できるようにしてほしいという要望が今年度は特に多くありました。現在、アイスクリームや軽食(冷食)の自動販売機を導入することについては検討中ですので、もう少しお待ちください。売店はスナックや軽食だけでなく、文具などの売店(購買部)を設置するという意味合いもあるように考えられます。また、食堂を熱望する学生の声もありますが、当面、自販機での対応で状況がどうなるかをみて頂ければと存じます。ドリップコーヒーのコーナーに関しては、自販機導入後に合わせて考えてみたいと思います。

Q 2 1-5. 学生からの要望や意見 (Q & A)

看護学科 (続き)

Q 3) 廊下が寒いです。/休みの日に鬼電 (節電?) はやめて欲しい。

回答: 本校では、廊下の天井に空調設備を設置してある場所は学校全体で2箇所です。そのため、基本的には、廊下を温める構造にはなっていないのです。冬の寒い日には、各教室をガンガン温める傾向がありますが、廊下まで効果的に温められないため教室と廊下の温度差が広がってしまいます。そのため、教室から廊下に出ると、温度差は実際以上に気になると思われます。凍結防止のための温度設定はできているので、おそらく寒いと感じる時の廊下でも12~13℃になっています。教室内は28~30℃設定にしていると、最大17℃ほどの温度差になることもあるかもしれません。ただ、廊下を区切るということは防災上できません。廊下に暖房設置を取り付けるとなると膨大な経費が必要となりますので、これも現実的な対応とは言えません。

そこで、寒さを感じる時の対策としては、衣類の重ね着で調節してもらうとか、食事を抜かず3食きちっととって頂くのが良いことかと思われます。また、あまり廊下に長居をしないことも対策として考えられます。

休日に授業が割り当てられたり、卒業研究などで集まる必要性があるかと思われます。そのような場合、必要なところは暖房を使って頂ければと存じます。ただ暖房を入れることは必要なことですが、不要なところや不要になった時は暖房を止めるように心がけて頂きたいようお願い申し上げます。SDGsの観点からも、エネルギーの消費を必要最小限にすることは望ましい対応といえます。

Q 4) 実習の交通費を統一にするか、何キロ超えたらみたいな感じで交通費を出してほしいです。難しいかもしれませんが、自販機の値段を下げてください。お菓子が入ってる自販機の中身をもう少し増やして欲しいです。アイスの自販機とおにぎりやポテト、

Q 2 1-6 . 学生からの要望や意見 (Q & A)

看護学科 (続き)

焼きそばが売ってある自販機を置いて欲しいです。

回答:看護学科では市内や近郊の実習施設で臨地実習を行いますので、実習費の個人負担に関してはできるだけ公平が保てる実習先の割り振りを調整しています。しかし、何かのタイミングで偏りが出ることもありますので、その場合はご容赦下さい。

理学・作業の場合、函館や北見などの遠隔地で実習することになりますので、看護学科に比べて学生による自己負担の費用がもっと増えてきます。そのような場合には、旅費や宿泊費に関しては一定の割合で学校負担がなされ、学科間による実習の個人負担の費用の差が大きくなるように調整しています。

自販機で販売する商品の値段は、設置場所によって変わってきます。それは売り上げと密接にリンクしておりますので、学校と業者との交渉になってきます。設置後まだ一年経っていないので、価格の見直し時に皆さんの意見が反映できるように働きかけてみたいと考えております。アイスクリームや軽食の販売については、現在前向きに検討しているところです。お菓子の品数に関して、販売してほしい商品をリクエストしてみたいかがでしょうか。自販機の会社に対して何か要望のメモを入れる箱を設置します。

Q 5) テストの時にカンニングをしている人がいる、カンニングできる環境があるのはおかしいと思います。

回答:ご指摘の通りです。学校としてはカンニングを容認しているのではなく、むしろ逆です。ただ、厳密に試験監督者を複数人配置し不正防止をはかっている学校も確かにあります。この種の問題は以前にもありましたので、各学科で対応を協議してもらい、なんらかの対応をしたいと考えています。

社会全体でも、不正には厳しく対処するような雰囲気になっております。カンニング

Q 2 1-7. 学生からの要望や意見 (Q & A)

看護学科 (続き)

が発覚すれば、その科目単位認定がなされないだけでなく、その学年で受けた科目全ての単位認定を取り消す学校もあります。さらに、再三に渡ってカンニングを繰り返せば、無期停学という処罰を受けることもあります。

国家試験を受験しなければならない本校学生には、カンニングという不正は、結局何のプラスにもなりません。また、長い目でみても、不正を続けることは、決してその方の人生にも望ましい結果をもたらすことではありませんので、学生時代から不正しない心構えを持って頂きたいものです。

Q 6) 教員の中でも仕事量が多すぎる方がいらっしゃると聞いてます。その格差をできるだけ減らせるような取り組みをしていただけると嬉しいです。

回答: 全くその通りですね。職位によって、またある年に何かの役割などを担当することで業務における過多は、多少なりとも生じることがあります。労働基準法により、著しい逸脱がないように法的には厳しく管理されていますが、現実的には、平等の原理がうまく働かないことも少なくありません。各学科での働き方の関係でもご指摘の事柄に関わることがあるかどうかを含め、格差解消を考えていかなければなりません。

Q 7) 校長先生大好きです!!!

回答: ありがとうございます。そう言っていただけるのは光栄です。私もこれまでの人生で尊敬する諸先生方や素晴らしい同僚に恵まれたり、恋愛の対象として心が惹かれる思いになった方と一緒に仕事をしたことがあります。今は多くの出会いは良い思い出となっているだけでなく、人間的な成長に少しはプラスになったと感じております。

Q 8) 威厳が足りない。真面目な人ほど馬鹿を見る。

回答: どちらも残念なコメントですね。「威厳が足りない」とは、尊敬できる教職員や

Q 2 1-8. 学生からの要望や意見 (Q & A)

看護学科 (続き)

先輩がいないということでしょうか。きっと、本校の教育環境からそう感じたとすれば、「堂々として厳かな雰囲気から遠く離れており、人間的なスケールが小さい教職員ばかり」と感じられたのでしょうか。

また、「真面目な人ほど馬鹿を見る」と感じられることも、残念に思います。英語でも「Honesty pays」と言われています。確かに、短期的には色々と騙されたり、損をしたり、叱られたり、不遇を味わうということ等があっても、長い目で見れば、「正直はちゃんと割に合う」ということを信念として持っていたいただきたいものです。しかし、本校やこれまでの皆さんの経験から、理想とする考えとは真逆な印象を受けてしまっているのでしょうか。その意味では、申し訳なく思います。

Q 9) 特にありません。

回答: 了解しております。良い意味では「満足度が高い」と判断されますが、悪い意味では、「今更言ってもしょうがない」と諦めムードが漂っているとも考えられます。きっと前者であった欲しいと期待しています。

アンケートご協力に対するお礼

お陰様で、令和4年度の学生アンケートは最終的には60%近くの回収率となりました。年度末のご多忙の中、アンケートにご協力頂きました学生の皆様にはお礼申し上げます。

今年度のアンケート結果は、概ね昨年度と大きく異なることはありませんでした。このことについては、ある程度望ましい評価が続いているためではないかと推察いたしております。また、今年度の学生アンケートでは、新たな設問として「本校に対するご意見やご要望だけでなく、3学科の交流促進に関するアイデアは？」と尋ねた質問に対して皆さんから多くのご意見を頂いたことは、殊の外ありがたいことと感謝しております。

ただ、皆さんのご要望やご意見をもとにすぐに状況改善ができるかといえますと、必ずしもそうできることばかりではありません。勿論、すぐに解決できることは対応して参りますが、時間をかけて少しずつ変えていく努力をしないと実現できないこともあります。そのため、迅速な対応ができず心苦しいと感じております。しかし、皆さんにとって望ましい方向に向かって歩み続けていることは確かであると考えております。

学生の皆さんの学生生活がより充実したものになるように、日頃の学びで確実な学習成果が得られるような取り組みを優先して参りたいと考えております。なぜなら、学習成果の向上は、皆さんの日々の生活にゆとりを持ってもらうことになるからですし、学習に対するモチベーションを高めることにもなり、将来の目標に近づくことになるからです。

今後も学生の皆さんからのフィードバックを頂きながら、本校の教育活動全般をより望ましいものに作り上げて行きたいと思っておりますので、どうか、奇譚のないご意見やご要望を引き続きお寄せ頂きたいと、お願い申し上げます。

令和5年3月22日

学校法人稲積学園北都保健福祉専門学校

理事長 稲積実佳子

校長 林 要喜知

本部長 稲積 圭一